



「早春浅間山」/ 小林 邦  
松本市美術館蔵



「DISPLACEMENT」/ 大貫 第二  
松本市美術館蔵

平成28年

10月13日<sup>木</sup>~16日<sup>日</sup>

9:00 ~ 17:00

最終日は 16:00 まで

会場

松本市美術館  
市民ギャラリーA・B  
多目的ホール



「野菜など」/ 古岡 博人  
個人蔵

入場無料

〈同時開催〉

在校生作品展／歴代とんぼ祭ポスター展

明治

大正

昭和

近代美術の幕開け

松中・深志 師弟が駆け抜けた

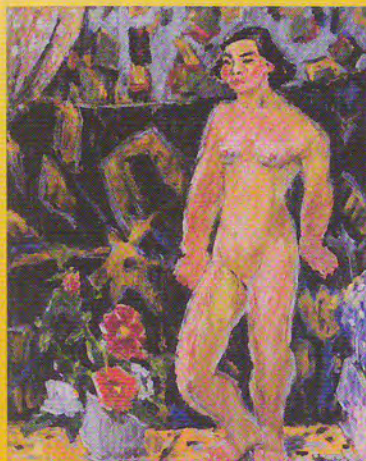
松本深志高校創立一四〇周年記念美術展



「山」/ 武井 真澄  
個人蔵



「ぶどう」/ 郷原 古純  
個人蔵



「二人裸婦」/ 宮坂 勝  
松本市美術館蔵



「少女像」/ 上條 俊介  
松本深志高等学校蔵



「坂道」/ 河越 虎之進  
個人蔵

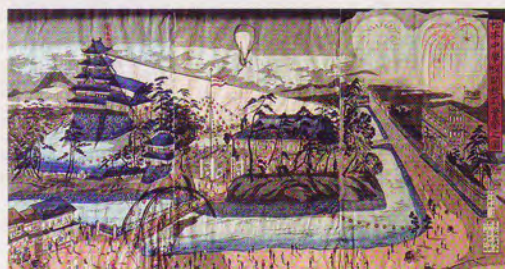
平成28年10月吉日

松本深志高校同窓会会長 井上 保

美術展委員長 三木 繁男

このたび、松本深志高等学校創立140周年の記念事業に際しまして、松本市美術館をはじめ、地域の皆様方のご協力により「松中・深志 師弟が駆け抜けた明治・大正・昭和 近代美術の幕開け」と題して美術展覧会を開催いたしますことになりました。

長野県で最も古い歴史を誇る当校の同窓会としまして、地域の皆様方に芸術文化の上で如何なる役割を果たすことができるかは大きな課題であります。作品のジャンルは日本画、洋画、彫刻、工芸と多岐にわたりますが、時代を超えて蘇る諸先生方の生の息吹を感じていただければ幸いです。そしてこの展覧会が未来への架け橋となることを祈って開催の言葉いたします。



「深志繁栄の図」 松本深志高等学校蔵

## 美術展開催を控え

松本市美術館は今年で創立14年目を迎え、館が始まって以来続けられた美術作品の収集により、この松本平の美術家たちの活動が検証され、地域の人々に紹介されております。今回私たち美術展委員会は、当美術館の収蔵作品の中から、松本中学、深志高校と関わりのあった先生方、また諸先輩方の美術活動における足跡を探り、大正・昭和の物故者に光を当てることを目標として始めました。

松本中学の美術教員は、まず明治17年に河野二郎、ついで松井昇、望月俊稜と続き、明治33年からは武井真澄が13年間在職します。真澄はその間に教え子の増田正宗、郷原古統、望月桂、河越虎之進、白山卓吉、宮坂勝等を美術の道へ送り出します。

この多くの先輩たちの作品は美術館以外にも松本平の愛好家のお宅で大切に所蔵されておりました。「これら明治の作品無くして近代美術は語れない」、元松本市博物館館長の佐藤玲子氏(深志3回卒)の言葉です。

私たちは多くの先輩たちに導かれ美術展まで迎えることができました。多目的ホールでは在校生作品展・歴代とんぼ祭ポスター展も企画しましたので、ご覧いただければ幸いです。つなぐのは未来への希望です。在校生たちが深い志を持って切り開く未来が平和でありますように…。

終わりにこのたびお世話になりました松本市美術館はじめ、作家のご遺族、作品所蔵の各方面の皆様方に感謝申し上げます。

平成28年10月  
松本深志高校創立140周年記念美術展委員会

## 松中・深志師弟のかかわりの歴史

|    |   | 師                               | 在職年                            |   | 弟              | 卒業年次                 |
|----|---|---------------------------------|--------------------------------|---|----------------|----------------------|
| 明治 | ○ | 河野 二郎<br>松井 昇<br>望月 俊稜<br>武井 真澄 | 明17～19<br>明19<br>明19<br>明33～大2 | ○ | 武井 真澄          | 年不詳                  |
|    |   |                                 |                                | ○ | 増田 正宗<br>井口 良一 | 松中25(明38)<br>明33入学中退 |
|    |   |                                 |                                | ○ | 郷原 古統          | 松中27(明40)            |
|    |   |                                 |                                | ○ | 望月 桂           | 松中27(明40)            |
|    |   |                                 |                                | ○ | 白山 卓吉          | 松中27準卒               |
|    |   |                                 |                                | ○ | 河越虎之進          | 松中32(明44)            |
|    |   |                                 |                                | ○ | 宮坂 勝           | 松中34(大2)             |
| 大正 | ○ | 志賀 正人                           | 大5～8                           |   |                |                      |
|    |   | 吉岡 修三                           | 大8～10                          | ○ | 上條 俊介          | 松中40(大8)             |
|    | ○ | 小野麟之助                           | 大10～昭2                         | ○ | 小林 邦           | 松中48(昭2)             |
|    |   |                                 |                                | ○ | 丸山 太郎          | 〃                    |
| 昭和 |   |                                 |                                | ○ | 池田三四郎          | 〃                    |
|    | ○ | 宮坂 勝                            | 昭2～3                           |   |                |                      |
|    |   | 山口 猛彦                           | 昭3～5                           |   |                |                      |
|    |   | 富田 民治                           | 昭5～7                           | ○ | 高橋 節郎          | 松中53(昭7)             |
|    | ○ | 寺尾 浩                            | 昭7～15                          | ○ | 大池 宗作          | 夜中10(昭8)             |
|    | ○ | 小平 鼎                            | 昭15～19                         |   |                |                      |
|    | ○ | 古厩 博人                           | 昭19～24                         |   |                |                      |
|    | ○ | 宮阪 彦一                           | 昭24～30                         |   |                |                      |
|    |   |                                 |                                |   |                |                      |
|    | ○ | 大貫 悌二                           | 昭29～51                         | ○ | 山崎 温           | 深志2(昭25)             |
| 平成 |   |                                 |                                | ○ | 渡会 意士          | 深志10(昭33)            |
|    |   |                                 |                                |   | 高嶋 文彦          | 深志11(昭34)            |
|    | ○ | 渡会 意士                           | 昭51～平4                         |   |                |                      |
|    | ○ | 岡村 敏孝                           | 平4～14                          |   |                |                      |
|    | ○ | 逢沢 道澄                           | 平14～23                         |   |                |                      |
|    | ○ | 山崎 亨                            | 平23～                           |   |                |                      |

追悼集『わが彦さん』登場者  
仁科惇、北村明也、佐藤玲子、  
二木六徳、横澤英一 ほか

# 明治

長野県尋常中学校から長野県松本中学校と改称した翌年の明治32年、図画教師として赴任した武井真澄は、松本平での美術教育の最大功労者といえましょう。今回図らずも、彼の12年間の在職中に指導した教え子たちの作品と共に、師弟との交流もうかがえる共同作品も合わせてご覧いただくことができます。

明治33～大正2年在職

**武井 真澄**

(1875～1957)

諏訪市豊田出身

号 真徴



「槍ヶ嶽」 松本深志高等学校蔵

**増田 正宗**  
(1885～1966)  
松本市出身  
本名 久太郎



「防人の歌」 個人蔵

**郷原 古統**  
(1887～1965)  
松本市出身  
本名 藤一郎



「鍾植図」 個人蔵

**望月 桂**  
(1887～1975)  
安曇野市明科出身



「熊谷像」 松本深志高等学校蔵

**白山 卓吉**  
(1887～1963)  
北安曇郡池田町出身  
本名 寺嶋 理吉



「夏の舟着き場」 個人蔵

**河越 虎之進**  
(1891～1989)  
松本市梓川出身



「自画像」 松本市美術館蔵

**宮坂 勝**  
(1896～1953)  
松本市梓川出身



「上高地六百岳」 松本市美術館蔵

# 大正

日本における美術の近代化は、他のあらゆる領域の近代化と同様に、ヨーロッパ化ないしヨーロッパの受容ということにほかなりません。彼らは新しい西洋美術へのあこがれを抱いて卒業もそこそこに上京し、新しい師の門を叩いたのであります。その闘いともいえる自己探求の元に日本独自の美術表現として、故郷において開花させ、また活動の場を開きました。



「秋の梓川」 個人蔵

大正5年～8年在職  
**志賀 正人**  
(1887～1974)  
本籍は松本市開智



「肖像画」 松本深志高等学校蔵

大正10年～昭和2年在職  
**小野 麟之助**  
本籍は名古屋

**上條 俊介**

(1899～1980)

東筑摩郡朝日村出身

松中40回卒



「少女像」 松本深志高等学校蔵

**小林 邦**

(1906～1990)

安曇野市穂高出身

松中48回準卒



「山わらう」 松本市美術館蔵

**池田 三四郎**

(1909～1999)

松本市出身

松中48回卒



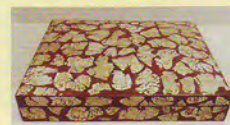
「ウインザーチェア」 松本民芸家具蔵

**丸山 太郎**

(1909～1989)

松本市出身

松中48回卒



「卵殻貼文箱」ほか 写真展示

# 昭和

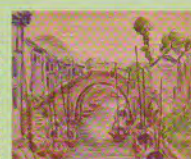
昭和23年に、松本中学校は松本深志高校と改称されました。そして戦後の美術教育の中で師弟の素晴らしい交流を物語る宮阪彦一先生の追悼集『わが彦さん』が残されています。また、今展覧会に展示されている明治・大正時代の偉業を成し遂げた先輩芸術家の足跡が『深志人物誌』に紹介されており、私たちの道標となりました。



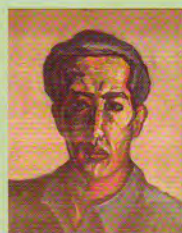
松本深志高等学校蔵  
「X氏像」



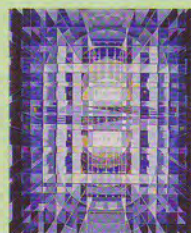
松本市美術館蔵  
「ノートルダム寺院」



「蒲圻」  
個人蔵



「自画像」  
個人蔵



松本市美術館蔵  
「電動磁場図」



松本市美術館蔵  
「転(い)」

昭和7～15年在職

寺尾 浩  
兵庫県出身

昭和15～19年在職

小平 鼎  
(1905～1975)  
茅野市出身  
諏訪中卒

昭和19～24年在職

古厩 博人  
(1907～1996)  
塩尻市出身  
松中47回卒

昭和24～30年在職

宮阪 彦一  
(1906～1994)  
松本市出身  
松中47回卒

昭和29～51年在職

大貫 悌二  
(1911～1989)  
東京都八王子市出身

昭和51～平成4年在職

渡会 意士  
(1939～2008)  
東筑摩郡筑北村出身  
深志10回卒

高橋 節郎  
(1914～2007)  
安曇野市穂高出身  
松中53回卒



「樹下好景」 松本市美術館蔵

大池 宗作  
(1916～1994)  
松本市出身  
夜中10回卒



「秋景」 松本市美術館蔵

山崎 温  
(1931～1976)  
松本市出身  
深志2回卒



「作品」 松本市美術館蔵

# 平成

現代美術はジャンルを越え、様々な表現が生まれています。私たちの恩師に学んだ数多くの先輩方が今も現役で活躍しています。今後、美術の表現は若人によりどう展開されていくのでしょうか、興味深いことです。

平成4～14年在職  
岡村 敏孝  
号 焰人  
安曇野市穂高出身



「玄耀彩皿」

平成14～23年在職  
逢沢 道澄  
松本市出身



「風景1」

平成23～現在在職  
山崎 亨  
安曇野市穂高出身



「踊る女」

在校生作品展 セルフポートレートシルクスクリーン(多目的ホール)  
歴代とんぼ祭ポスター展(多目的ホール)

